

ひまわり No.17

消防広報 平成25年(2013)10月18日

編集・発行 出雲市消防本部 消防総務課

TEL: (0853)21-2119(代)

e-mail:soumu@izumo119.or.jp



特別救助隊を発隊!!

～さらなる安全・安心をめざして～



長岡秀人出雲市長より
特別救助隊章の交付を受ける職員



特別救助隊章



特殊器具を使用しての
シャッター切断訓練の様子

出雲市消防本部では今年4月に、特別救助隊を発隊しました。複雑多様化する大規模な災害救助活動対応力を強化するため、出雲消防署に配置している救助隊を「特別救助隊」に改め、専門的な知識と技術を備えた救助隊員12名で編成しました。特別救助隊には救急救命士を配置し、傷病者への迅速な観察とトリアージにより、救急救命活動との連携を図っていきます。

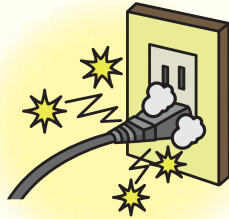
秋の火災予防運動

「消すまでは 心の警報 ONのまま」

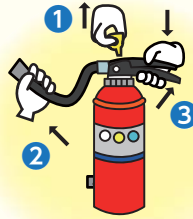
11月9日(土)から15日(金)までの1週間、全国一斉に「秋の火災予防運動」が実施されます。この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、防火の意識を高め、火災から尊い命と貴重な財産を守ることが目的としています。ちょっとした不注意が火災へとつながりますので、火の取扱いには十分注意しましょう。



タバコの始末はきちんとされていますか？
また、灰皿に吸い殻がたまっていませんか？



コンセントにほこりが
たまっていませんか？



消火器は設置されていますか？
使い方はわかりますか？



コンロに火をつけたまま
その場を離れることはありませんか？

火災は未然に防げます！ 今一度ご自宅の再点検を！

火遊びによる火災を防止しましょう

その1

ライターやマッチを子どもの手の届くところに置かない

子どもの火遊びを防ぐために、ライターやマッチなどを子どもの手の届かない場所へ置きましょう。



その2

子どもだけを残して外出しない

火遊びによる火災は、子どもだけの留守番中に多く発生しています。子どもだけを残しての外出はやめましょう。



その3

子どもだけでは火を使わせない

子どもは、火の持つ危険性を十分に理解することは出来ません。花火などの火を使用する際には、必ず大人が立ち会いましょう。



その4

子どもの火遊びを見かけたら注意してやめさせる

子どもは火遊びに興味を覚えるものです。子どもの火遊びを見つけたら必ず注意し、やめさせましょう。



住宅用火災警報器を適切に 使うためには維持管理が重要です！



「電池切れに注意!!」定期的に作動確認をしましょう。

住宅用火災警報器は電池が切れると作動しなくなります。定期的に点検ボタンを押すなどして作動確認を行いましょう。

警報音が鳴った時は…

住宅用火災警報器は、電池が切れそうになった際や故障の際に音や光で知らせてくれる機種があります。警報音が鳴った時の対処方法は取扱説明書を確認してください。

全国消防救助技術大会に

出場しました

ロープブリッジ渡過
全国第3位入賞!!

消防救助技術大会とは、日頃鍛え抜いた救助技術を競い合い、複雑多様化する災害現場に対応できる高度な救助技術と強じんな体力や精神力を養うことを目的として行われています。

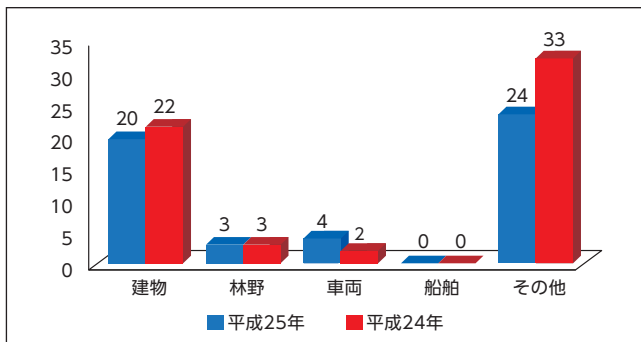
今年、広島県の旧広島市民球場跡地及び広島市総合屋内プールを会場に、全国900名あまりの消防隊員が参加し、出雲市消防本部からは中国地区予選会を通過した4名の隊員が出場しました。

その中で、ロープブリッジ渡過の部に出場した成相佑輔消防士が3位入賞しました。ロープブリッジ渡過とは、地上7mの高さに水平に張られたロープ20m（往復40m）を往路はセーラー渡り、復路はモンキー渡りで往復する種目です。たくさんの方のご声援頂きありがとうございました。



平成25年1月～9月火災救急統計

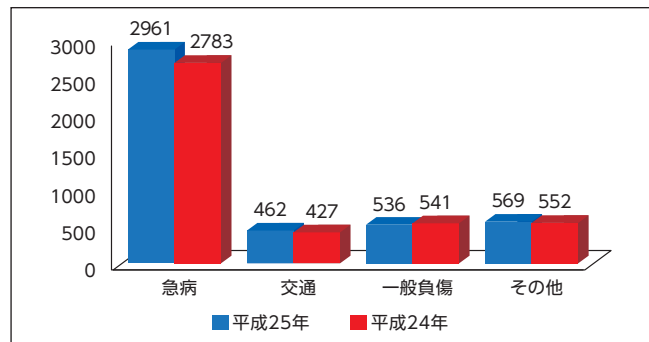
火災件数51件(前年同期比9件減)



※出火原因の上位は寄せ焼き、野焼き

寄せ焼き、野焼きによる火災は19件発生しています。これらの火災は、行為者がちょっと注意を払えば防げたものがほとんどです。火の取り扱いには十分注意しましょう。

救急件数4,528件(前年同期比225件増)



※救急件数は増加傾向に

救急出場件数は4,528件(4,303件)、搬送人員は4,224人(4,002人)、1日あたりの出場件数はおよそ17件となります。出雲市の救急件数は年々増加傾向にあります。

()内前年数



応急手当を身に付けましょう!



あなたは、周りの人が倒れたり、事故に遭遇したときに応急手当をすることができますか。救急車が到着するまで平均8分…しかし、重要な臓器へのダメージは約4分で始まります。助けられるのはあなたです!!あなたが手を差し伸べれば、助かる命があります。

消防本部では、各事業所、自治会、学校等あらゆる団体(10名以上)から受付しています。なお、個人または10名以内の団体での受講をご希望の方は、毎月第3木曜日(午後)に出雲市消防本部にて普通救命講習を行っています。

詳しいことは、**警防課救急救命センター(21-6923)**へお問い合わせください。



講習会の種類	時間	主な受講内容
①救急講習会(救急法)	1～2時間	心肺蘇生法・AED使用方法
②普通救命講習会(I・II)	I: 3時間 II: 4時間	心肺蘇生法・AED使用方法・止血及び異物除去方法
③上級救命講習会	8時間(1日講習)	②の内容及びその他の応急手当
④応急手当普及員養成講習	24時間(数日間)	②、③の内容をすべて受講し、応急手当普及員としての指導要領

県内初！航空輸送による部隊投入訓練

津波や豪雨災害を想定した県総合防災訓練が9月8日、隠岐の島町の旧隠岐空港で実施されました。訓練には、地域住民、防災関係機関等1,000人を超す参加者のもと、防災意識の高揚と関係機関との連携強化を図りました。

当消防本部からは、被災地へ迅速な移動・活動を行うため、航空自衛隊、海上保安庁の協力により、本年4月に発隊した特別救助部隊と災害時に機動力を発揮する消防2輪車(赤バイ隊)を航空輸送しました。この試みは県内では初めてであり、離島への航空



C-1輸送機への搭乗



海上保安庁の航空機による隊員輸送
(隠岐空港到着時の様子)



機体内の状況(C-1輸送機)

輸送の有効性や各機関との連携が図られ、今後の応援のあり方について新たな活動体制を築くことができました。



あすなる保育園幼年消防クラブへ 鼓笛隊セットを配備

出雲市消防本部少年女性防火委員会(会長 板垣祐治消防長)は、(財)自治総合センターの宝くじ助成により、鼓笛隊セットを購入し、あすなる保育園幼年消防クラブに配備しました。同クラブは、昭和60年に結成され、長きにわたり防火教育や避難訓練を通じ、幼年期からの防火意識の高揚を図っています。



宿泊体験学習を行いました

市内の中学生を対象とした「消防署宿泊体験学習」をこのほど、出雲市神西新町の出雲西消防署本署で行いました。

この宿泊体験では、救命講習や放水訓練などさまざまな訓練を体験し、訓練後は職員と一緒に夕食作りを行い、「同じ釜の飯」の仲間としての絆を結びました。また、夜間には野営訓練も行い、被災地での対応訓練にも真剣な様子で取り組んでいました。



代表 (電話 21-2119) (FAX21-8241)

お尋ねは

- 消防総務課 (電話 21-6920)
- 予 防 課 (電話 21-6921)
- 警 防 課 (電話 21-6923)
- 指 令 課 (電話 21-6924)
- 出雲消防署 (電話 21-6926)
- 佐 田 分 署 (電話 84-0915)
- 出雲西消防署 (電話 43-8119)
- 多 伎 分 署 (電話 86-2149)
- 平田消防署 (電話 63-5519)
- 大社消防署 (電話 53-2373)
- 斐川消防署 (電話 72-0800)

災害案内 (電話 23-0119) ホームページアドレス <http://www.izumo119.or.jp>